令和8年度

MEGURO こどモニター

第1回　アンケート結果

～小学生版～



アンケートのテーマ

子どもの権利

全ての子どもが持っている、「子どもの権利」を調べました。

アンケートの内容

1. 子どもの権利のこと …… P.1

2. 子ども条例のこと …… P.7

3. 子どもの権利の相談のこと …… P.13

4. まとめ …… P.21

期間

令和8年6月26日(金)から7月10日(金)まで

実施方法

ウェブアンケート

回答状況

回答人数　79人

小学校1年生～3年生…こどモニター50人中36人

小学校4年生～6年生…こどモニター50人中43人

※この報告書では、MEGUROこどモニターのうち小学生の意見をまとめています。

※意見は、内容をわかりやすくまとめています。

1.子どもの権利のこと

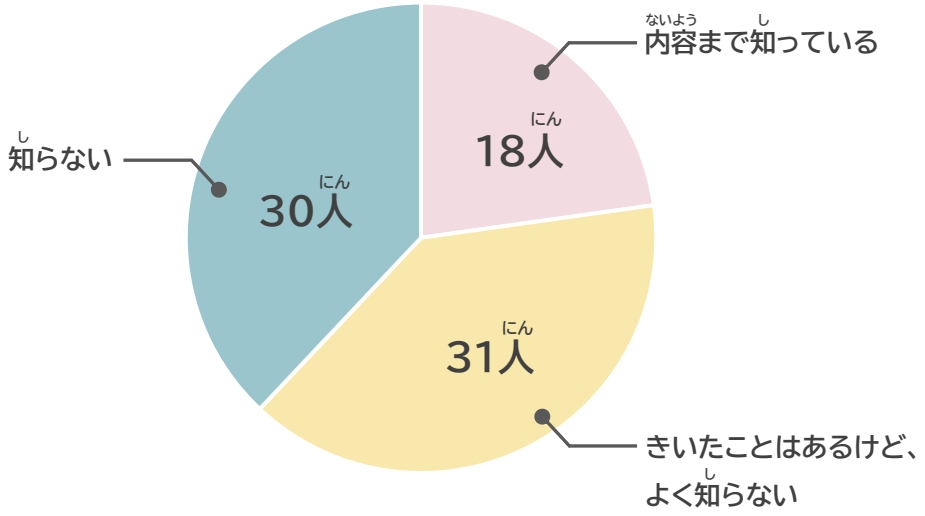
合計5問



問1

すべての子どもには、まわりの人から大切にされたり、
自分のきもちを自由に言ったりできる
「子どもの権利」があります。
この「子どもの権利」について、知っていますか。

（回答人数　79人）

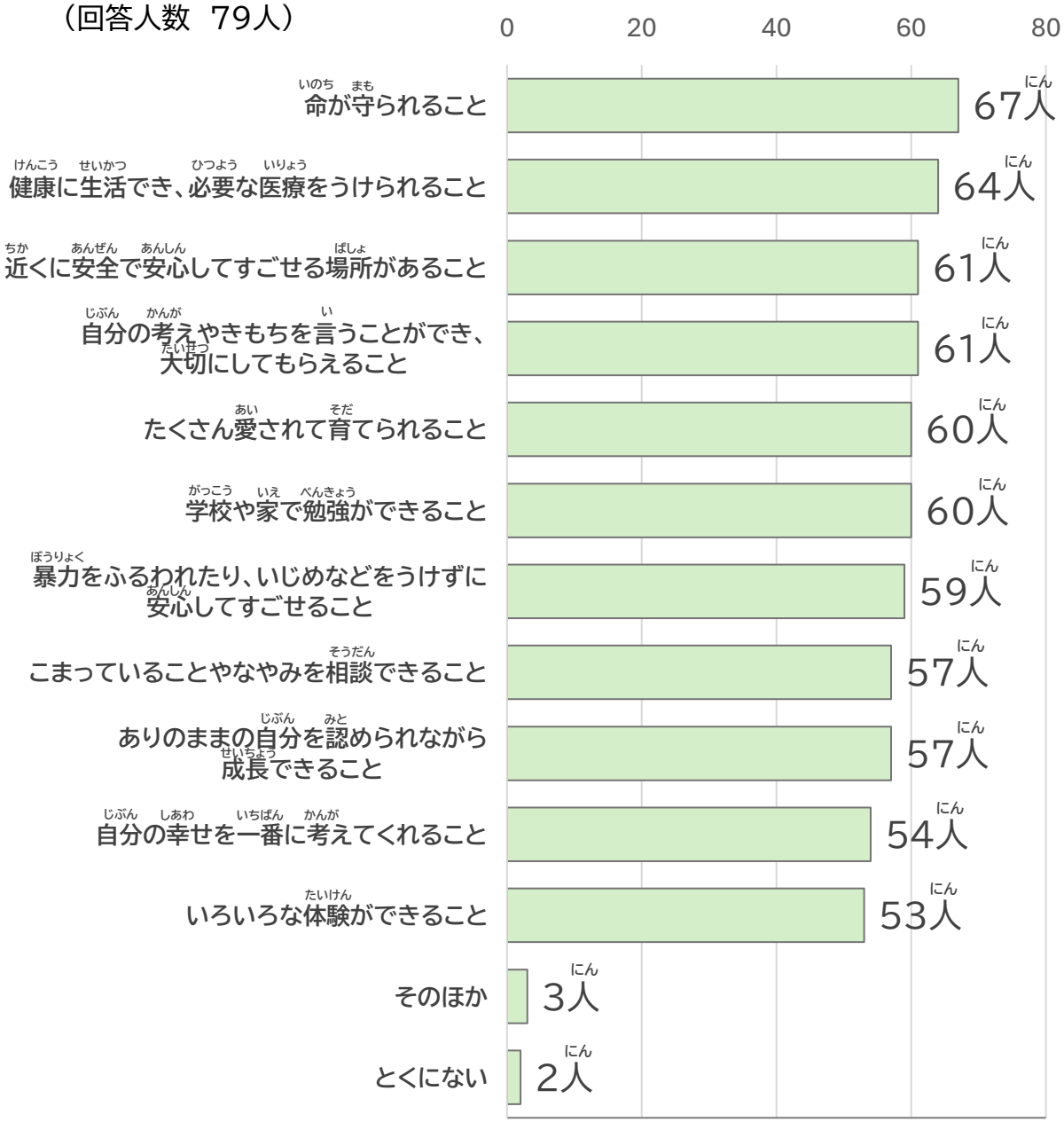


一番多かったのは「きいたことはあるけど、よく知らない」の31人でした。
「知らない」は30人、「内容まで知っている」は18人でした。

問2

あなたが「子どもの権利」だとおもうものはなんですか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　79人）

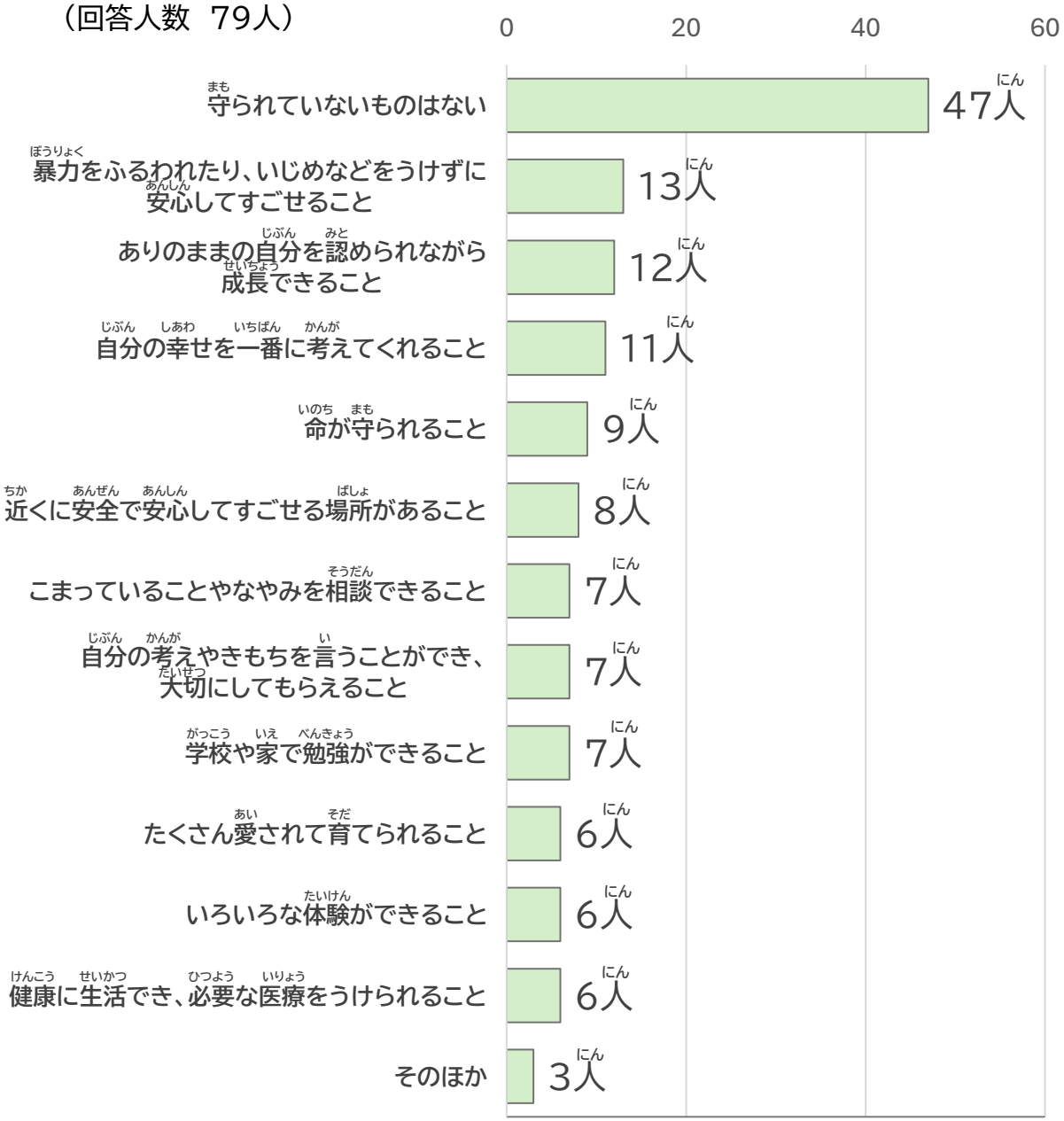


一番多かったのは「命が守られること」で67人でした。
そのほかの意見のなかには「平等に生きていける権利、自由を持てる権利」、「楽しく遊べること」などがありました。

問3

あなたのことで、守られていないとおもう「子どもの権利」はなんですか。（いくつでも選んでください。）

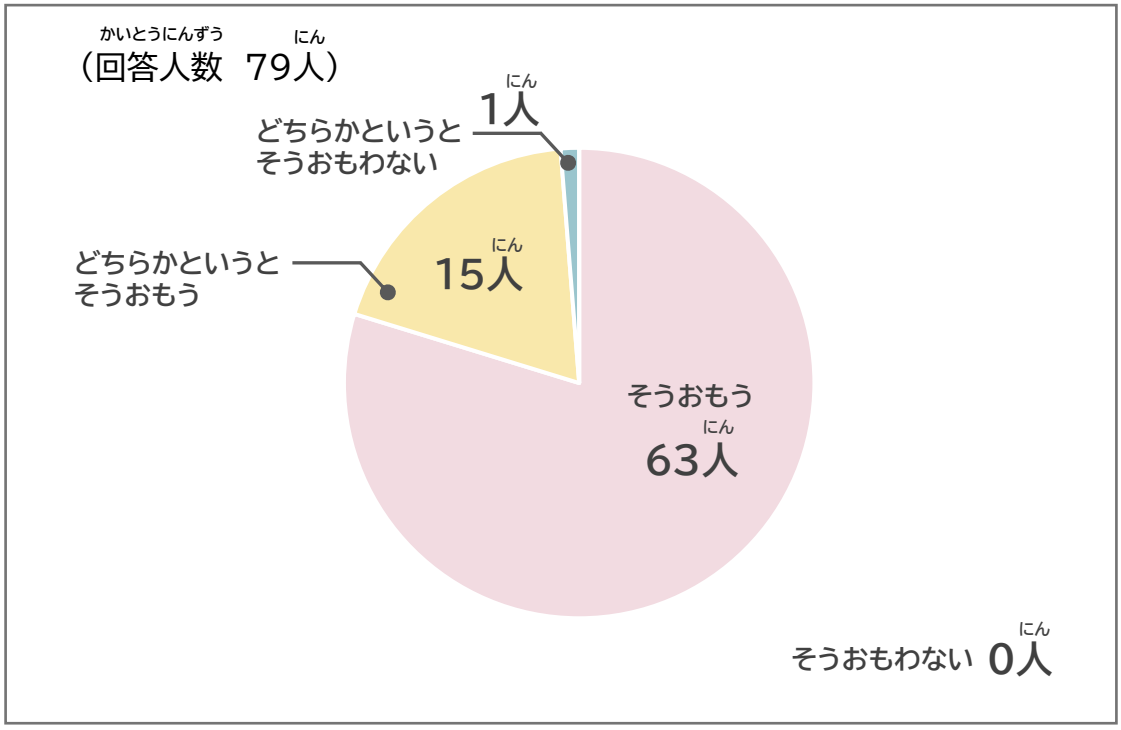
（回答人数　79人）



一番多かったのは「守られていないものはない」で47人でした。
そのほかの意見のなかには「こどもの意見が政治に反映されること」などがありました。

とい 問4

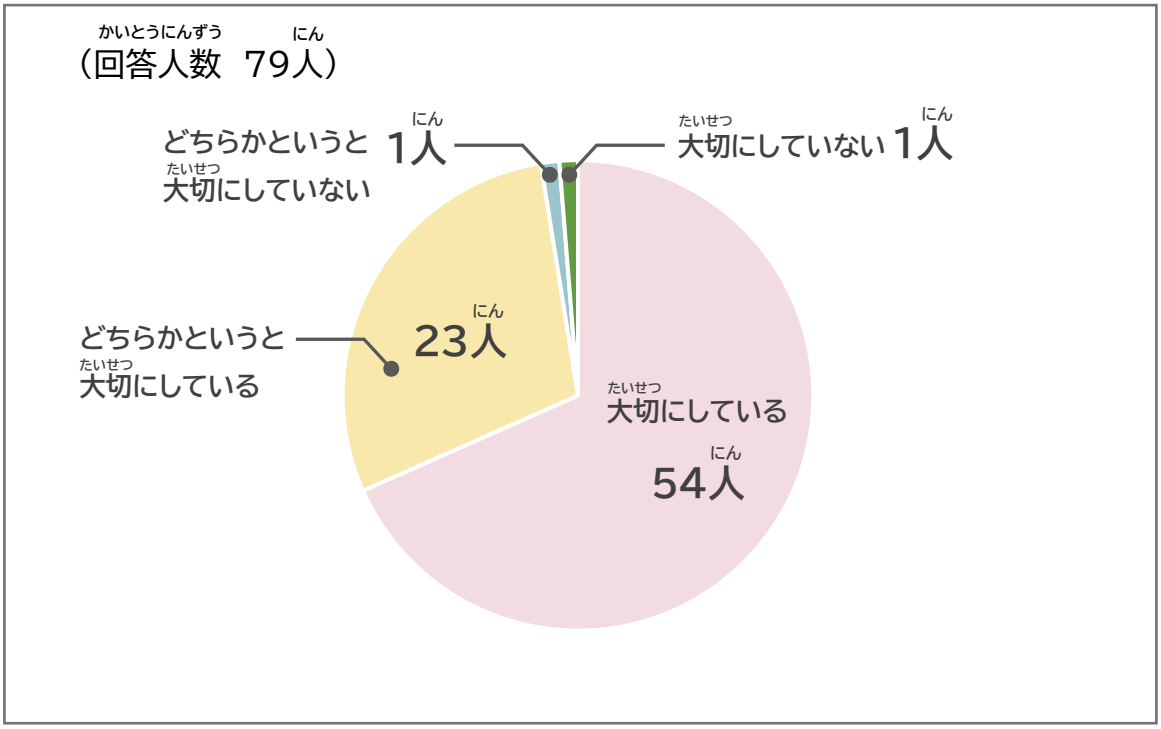
あなたは、家族や先生など、まわりの大人に大切にされているとおもいますか。



一番多かったのは「そうおもう」で63人でした。
「どちらかというとそうおもう」は15人、
「どちらかというとそうおもわない」は1人でした。

問5

あなたは、他の人の考えやきもちを大切にしていますか。



一番多かったのは「大切にしている」で54人でした。
「どちらかというと大切にしている」は23人、
「どちらかというと大切にしていない」・「大切にしていない」は
それぞれ1人でした。

2.子ども条例のこと

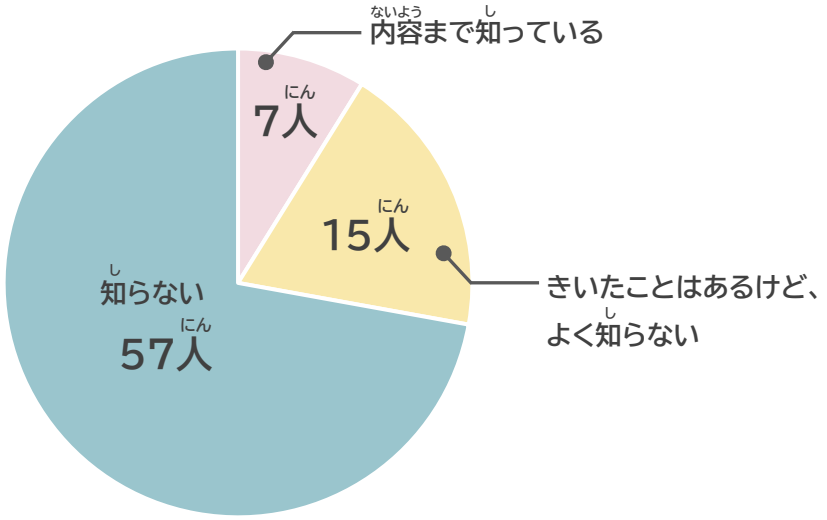
合計4～5問



問6

目黒区には子ども条例があります。知っていますか。

（回答人数　79人）



一番多かったのは「知らない」の57人でした。「きいたことはあるけど、よく知らない」は15人、「内容まで知っている」は7人でした。

目黒区子ども条例ってなに？？

子どもがいきいきと育つために、区が決めた約束のこと。

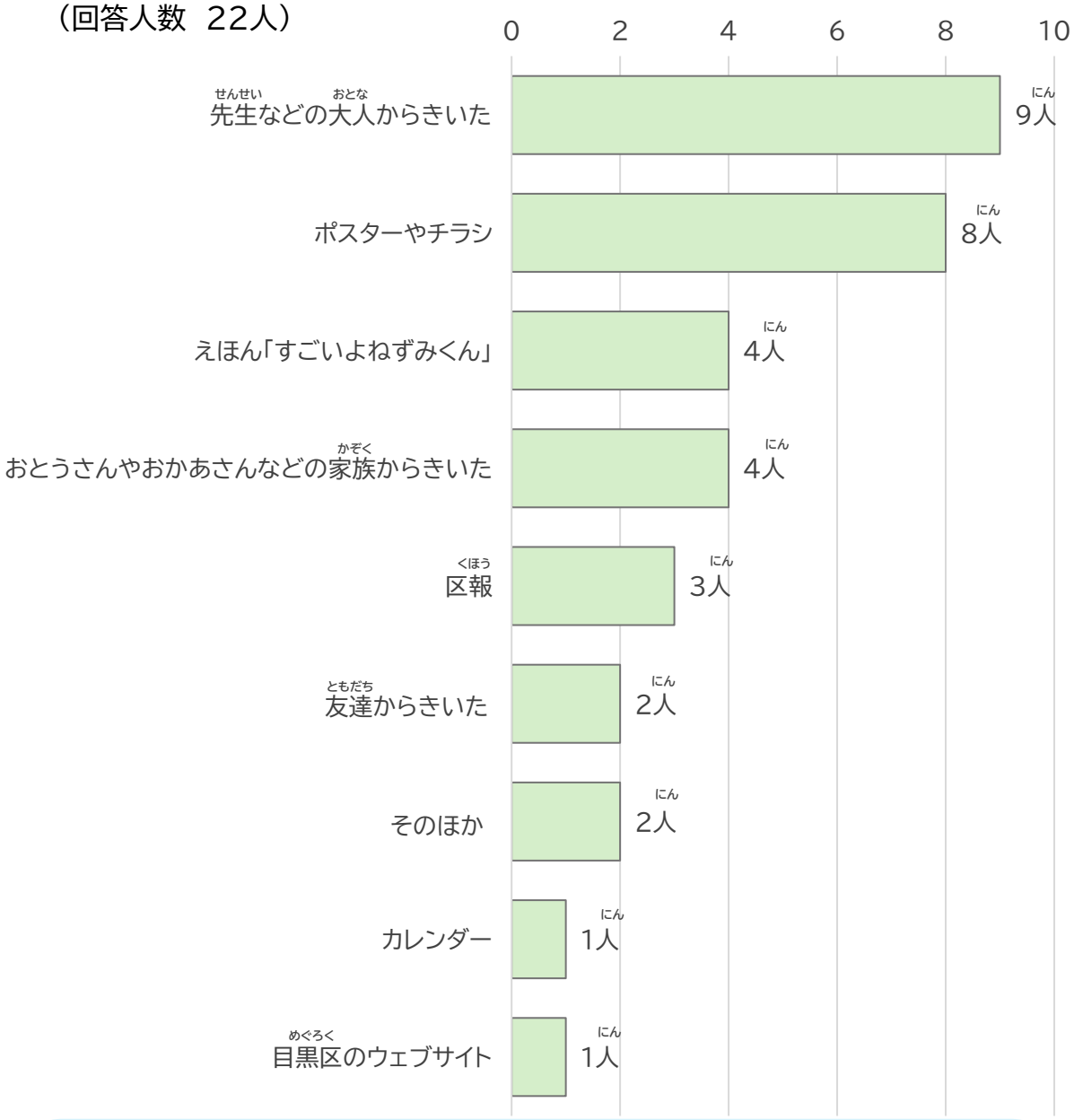
子どもは一人ひとりかけがえのない存在です。
大人は、子どもと誠実に向き合い、
子どもの思いを受け止めながら成長を支えていく役割があります。
区は、「子育てを支えるまち」、「子どもが参加できるまち」、
「子どもが安心できるまち」、「子ども一人ひとりのことを大切にするまち」
の4つの約束のため、さまざまなことをやっています。

＞＞目黒区子ども条例についてはこちら

問7

【問6. 内容まで知っている/きいたことはあるけど、よく知らないの場合】
子ども条例をどのように知りましたか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　22人）

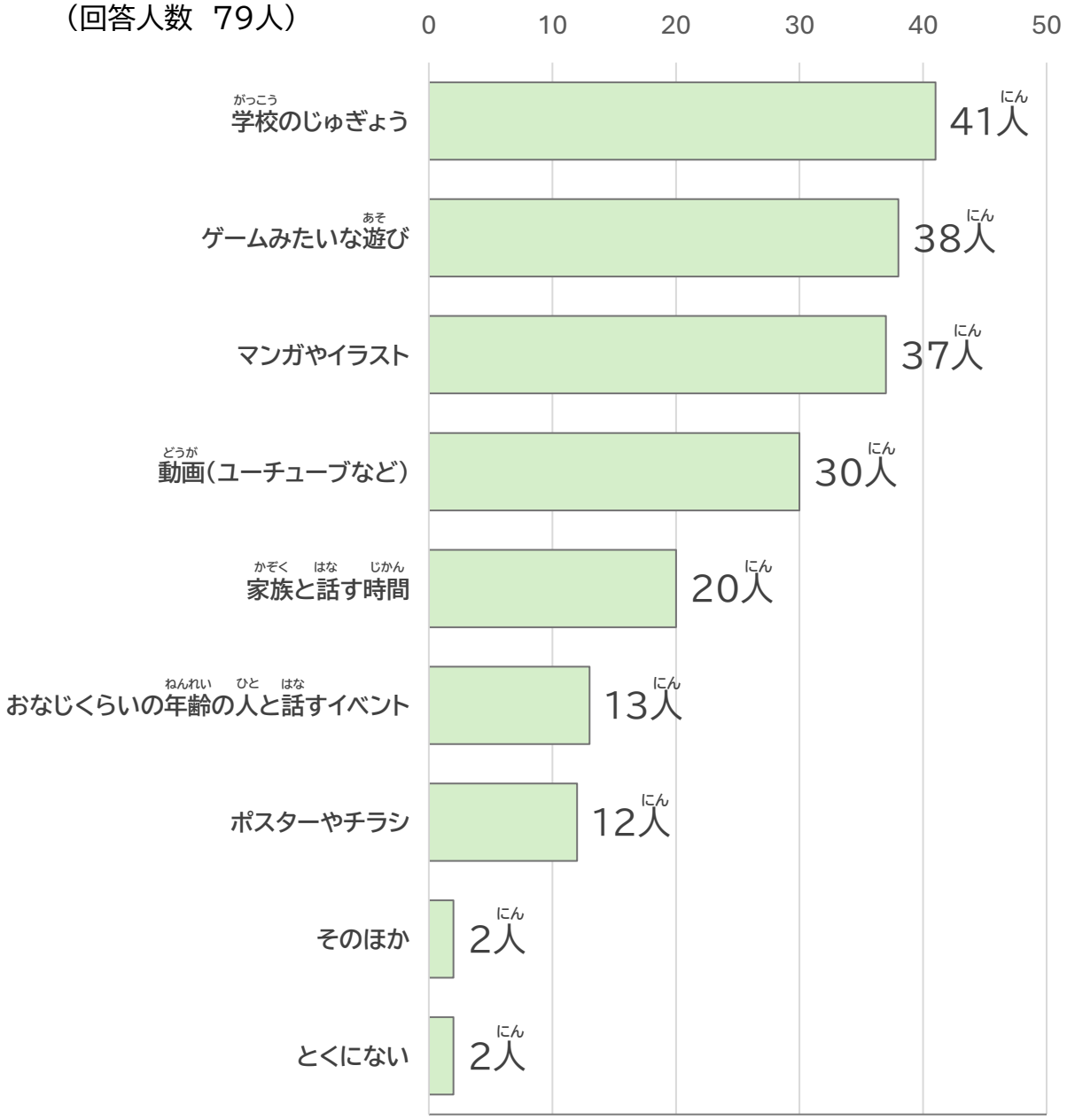


一番多かったのは「先生などの大人からきいた」で9人でした。
二番目に多かったのは「ポスターやチラシ」で8人でした。
そのほかの意見には「ポケットティッシュ」、「大人が話しているのを聞いた」がありました。

とい 問8

子ども条例について、どのような方法なら知りたいですか。
（いくつでも選んでください。）

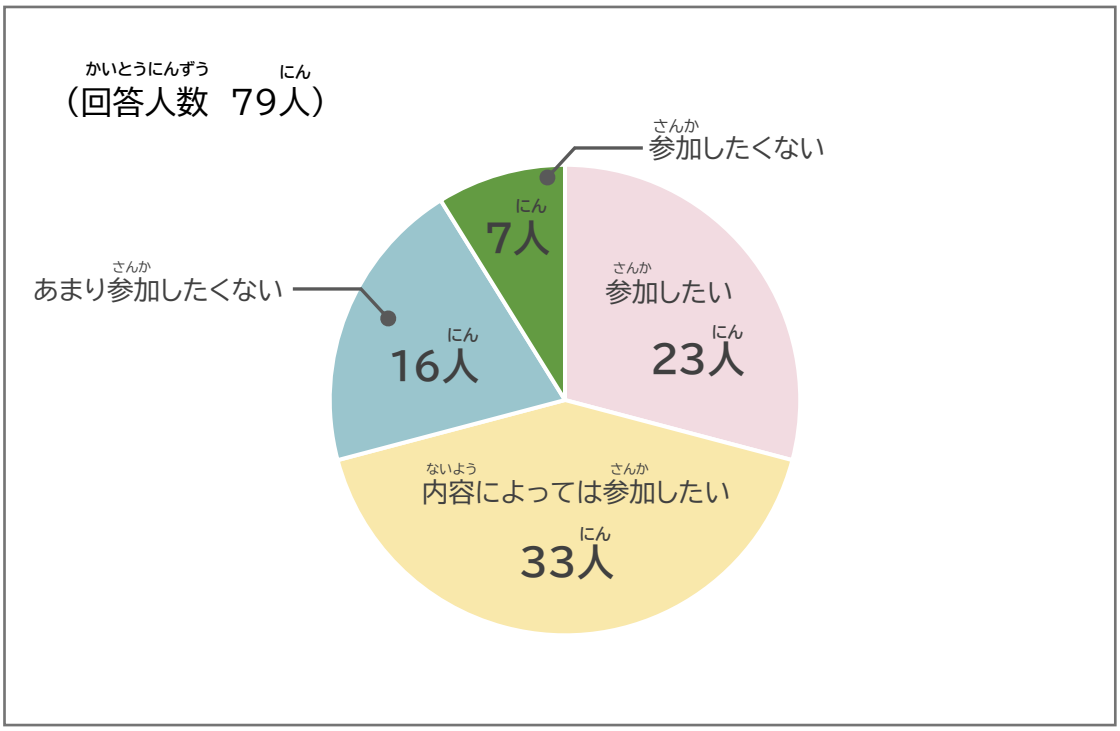
（回答人数　79人）



一番多かったのは「学校のじゅぎょう」で41人でした。
二番目に多かったのは「ゲームみたいな遊び」で38人でした。
そのほかの意見のなかには「イベントに参加する」などがありました。

とい 問９

子ども条例をみんなに知らせる活動に参加してみたいですか。



一番多かったのは「内容によっては参加したい」で33人でした。
「参加したい」は23人、「あまり参加したくない」は16人、
「参加したくない」は7人でした。

問10

子ども条例をみんなにしらせる活動に参加したい・したくない理由を自由にかいてください。

（回答人数　68人）

【参加したい理由】

・子ども条例を知りたいと思う同じくらいの年の仲間を作りたいから。
・お家で参加できる方法だと嬉しい。
・クイズ形式で正解したらプレゼントもらえるイベントだったら参加してみたい。
・みんなに子ども条例を知ってもらいたいから。
・たくさんの人に子ども条例について教えられるから。
・今の目黒区で子ども条例がどれくらい浸透しているか自分も知りたいから。
・同じ年齢の子たちと活動するのが楽しそうだから。

【参加したくない理由】

・人前で発表などをしたくないから。
・サッカーで忙しいから。
・受験するから。
・なんか難しそうだし、自分には合わなそうだから。
・活動の内容がよくわからないから。

3.子どもの権利の相談のこと

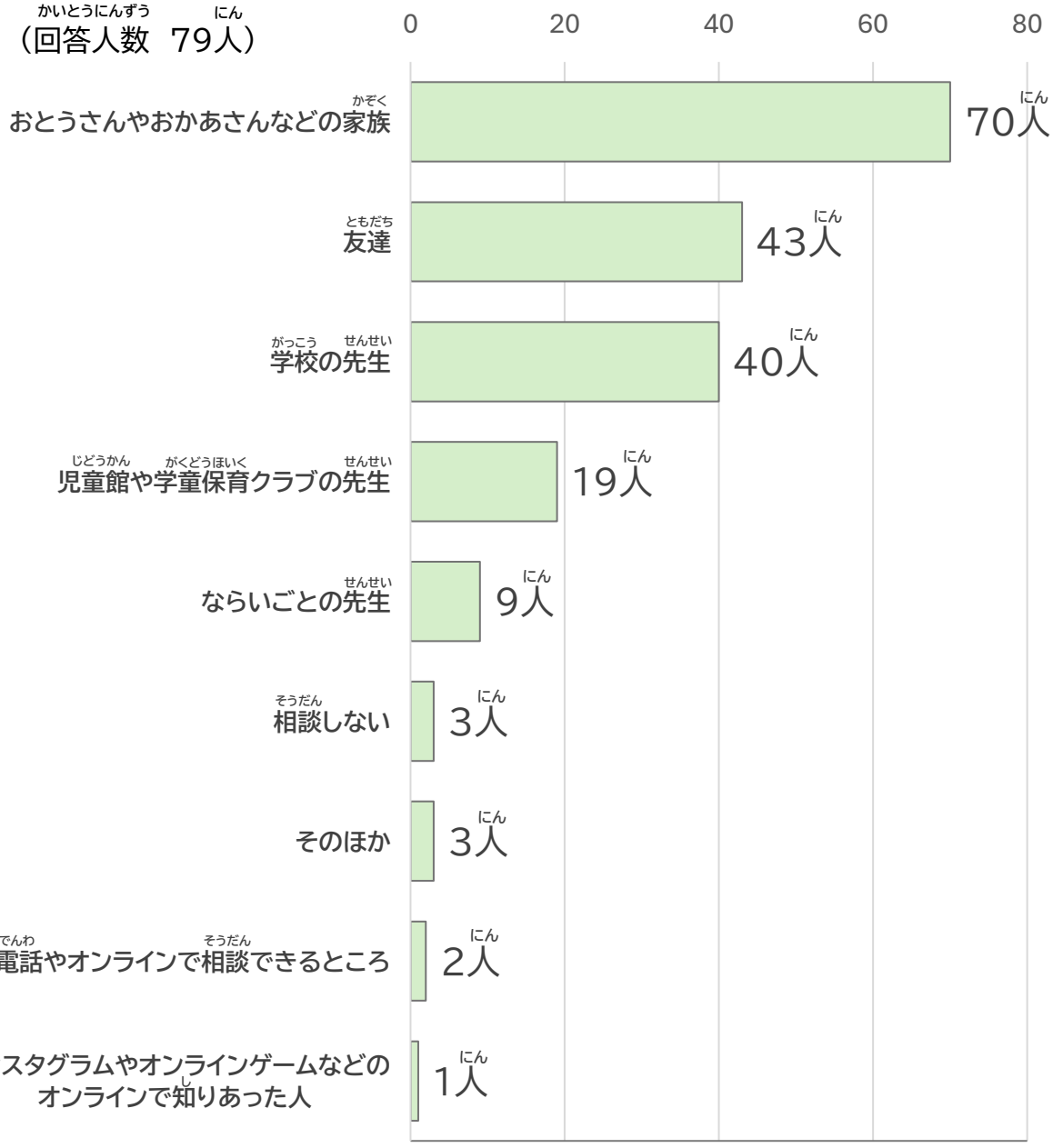
合計5～7問



問11

あなたがこまったりなやんだりしたとき、
どのような人・場所に相談しますか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　79人）

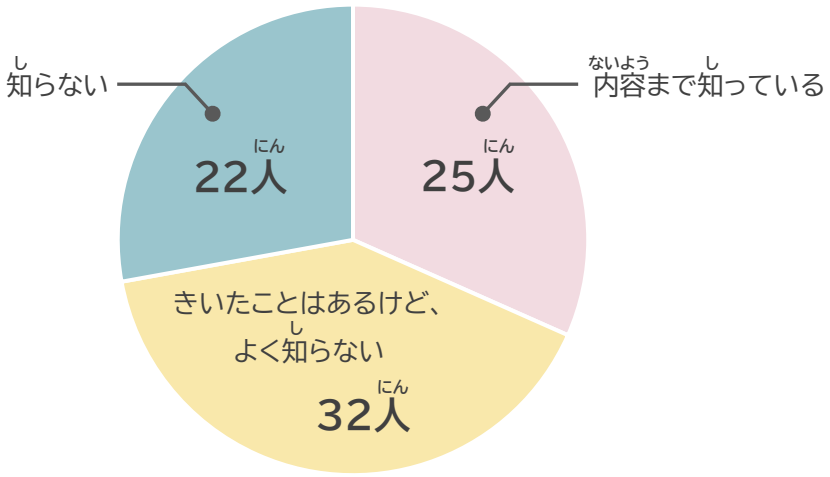


一番多かったのは「おとうさんやおかあさんなどの家族」で70人でした。
二番目に多かったのは「友達」で43人、
三番目に多かったのは「学校の先生」で40人でした。
そのほかの意見のなかには「AI」、「相談するほどの悩みはない」などがありました。

問12

目黒区には、子どもがこまったときに電話で相談できる「めぐろはあとねっと」があります。知っていますか。

（回答人数　79人）



一番多かったのは「きいたことはあるけど、よく知らない」で32人でした。
「内容まで知っている」は25人、「知らない」は22人でした。

「めぐろ　はあと　ねっと」って・・・？

家でも、学校でもないところが、
あなたの困っていることや、苦しく思っていることをじっくりきいて、
どうしたらいいかを一緒に考えるところです。
あなたの悩みは誰にも話さないから、安心して相談してね。

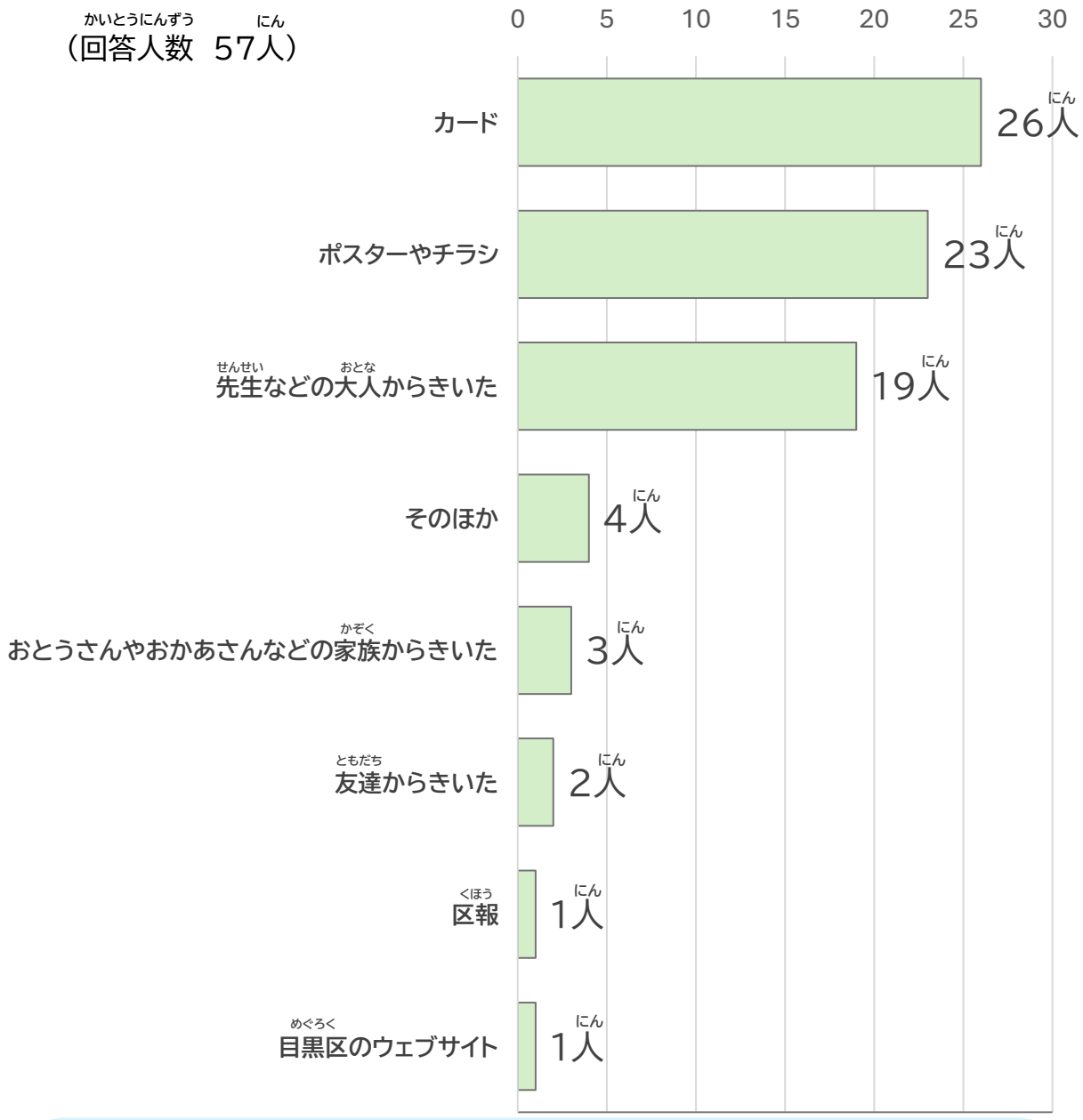
問13

【問12. 内容まで知っている/きいたことはあるけど、よく知らないの場合】

「めぐろはあとねっと」をどのように知りましたか。

（いくつでも選んでください。）

（回答人数　57人）



一番多かったのは「カード」で26人でした。

二番目に多かったのは「ポスターやチラシ」で23人、

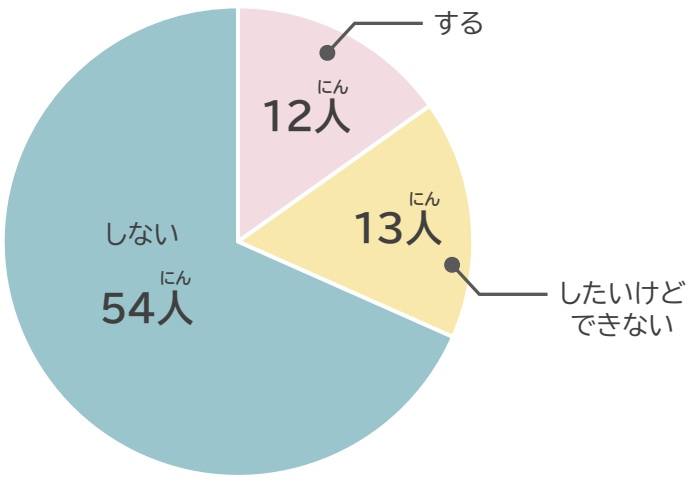
三番目に多かったのは「先生などの大人からきいた」で19人でした。

そのほかの意見のなかには「学校からの手紙」、「定規」、「学校の授業」などがありました。

問14

あなたは、こまったりなやんだりしたとき、
「めぐろはあとねっと」に相談しますか。

（回答人数　79人）

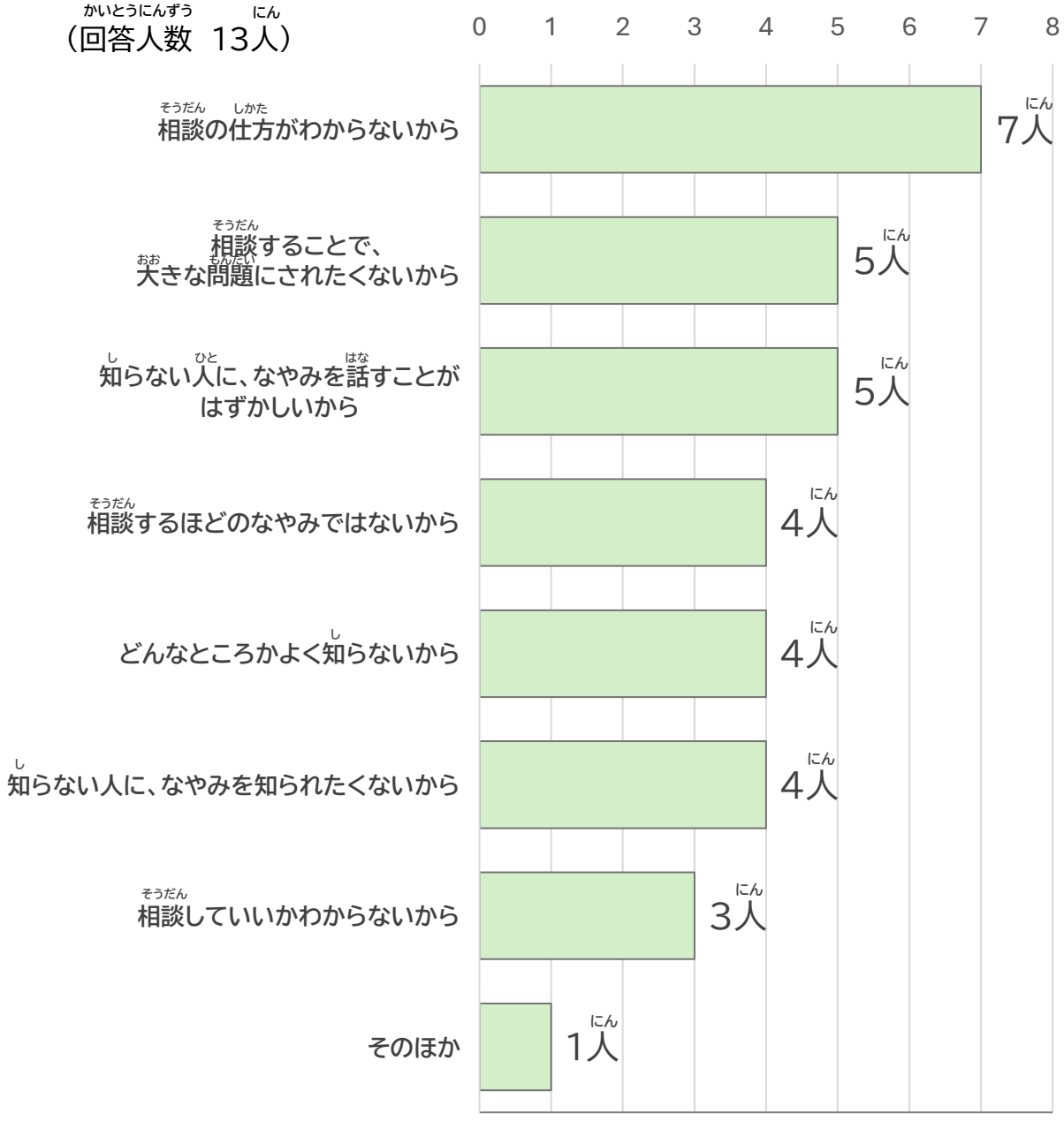


一番多かったのは「しない」で54人でした。
「したいけどできない」は13人、「する」は12人でした。

問15

【問14.したいけどできないの場合】
相談できない理由はなんですか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　13人）

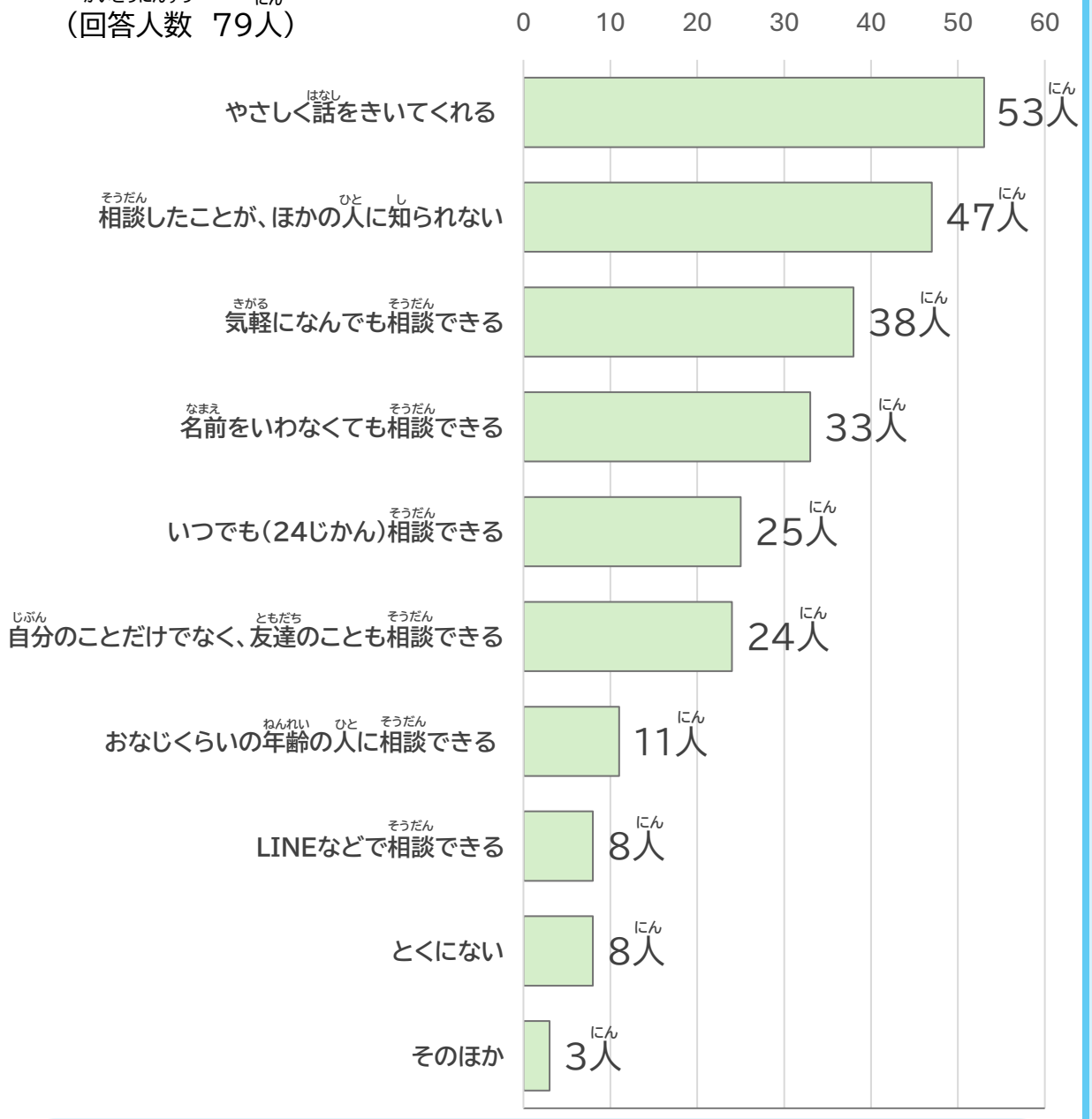


一番多かったのは「相談の仕方がわからないから」で7人でした。
そのほかの意見には「家の電話がないから」がありました。

問16

どんなところなら、相談しやすいですか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　79人）

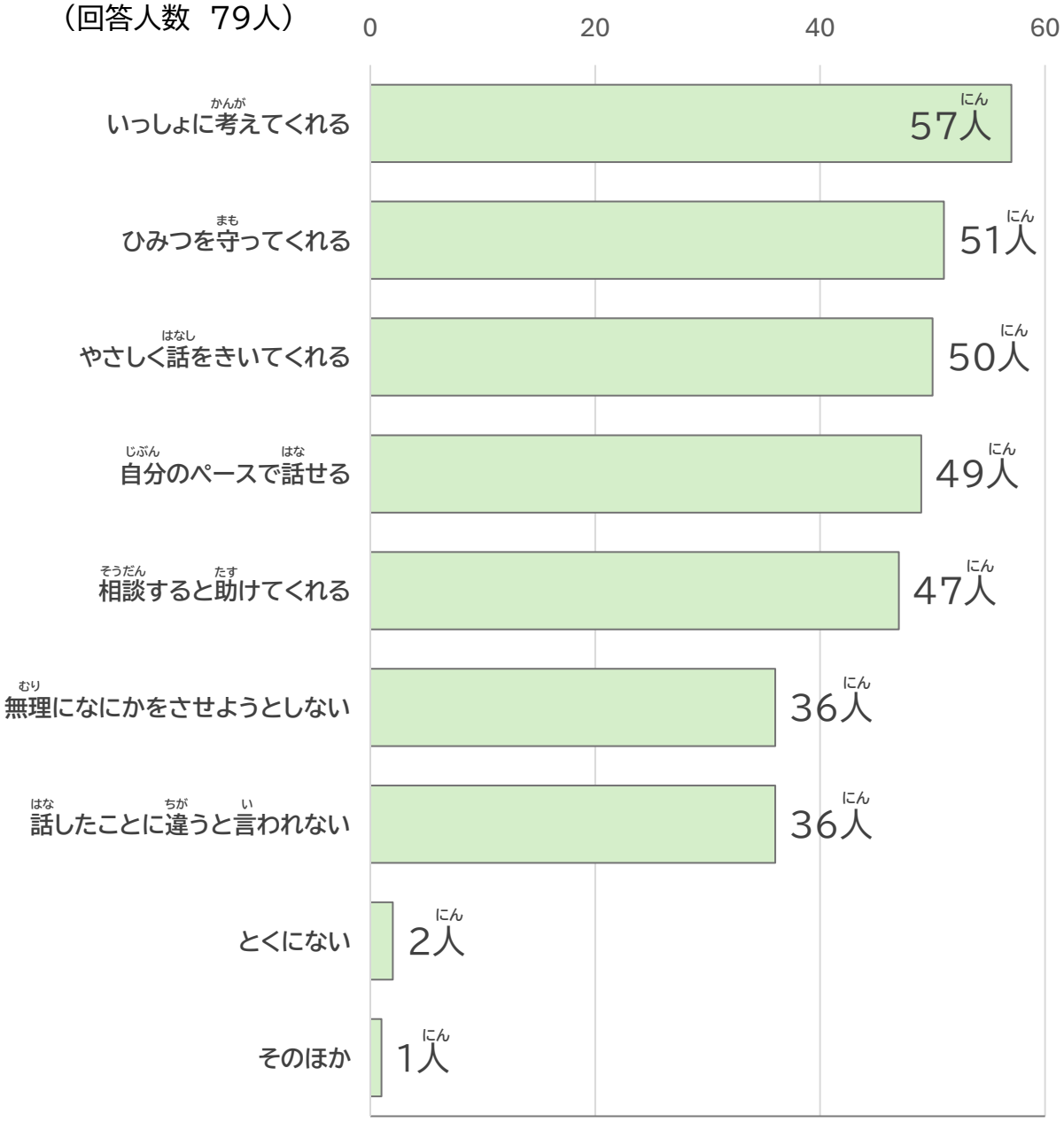


一番多かったのは「やさしく話をきいてくれる」で53人でした。
二番目に多かったのは「相談したことが、ほかの人に知られない」で47人でした。
そのほかの意見のなかには「WEBサイトからも相談できる」、「小部屋で1対1」、「誰にも知られず優しく肯定的で確かなチャット」などがありました。

問17

相談したとき、どうしてもらえると安心できますか。
（いくつでも選んでください。）

（回答人数　79人）



一番多かったのは「いっしょに考えてくれる」で57人でした。
二番目に多かったのは「ひみつを守ってくれる」で51人でした。
そのほかの意見には
「後日また同じ人と話ができ、前に話した内容を自分も確認できる」がありました。

4. まとめ

ごうけい　もん
合計1問



問18

今回のアンケートで、「子どもの権利」について、おもったことがあれば自由にかいてください。

（回答人数　48人）

【勉強になった・もっと知りたい】
・学校でも詳しくやってほしい
・もう少し調べてみたいと思った。

【むずかしかった】
・権利という言葉が難しかった。
・子どもの権利が何なのかまだよくわからなかった。

【その他】
・大人が子どものためにいろいろしてくれるのは幸せなことだと思った。
・はあとねっとは誰かに相談した後に使いたい。
・改めて友達を大切にしないといけないと思いました。
・子どもの権利が守られることが当たり前だと思っていたけど、権利が守られていない人がいると知って気軽に相談できる場所・人がいることの重要さを改めて実感した。

お問い合わせ：　目黒区子ども若者課　子ども若者施策推進係
TEL　03-5722-8723